

京都工業会 ニュース

基本理念

—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

2013 No.375

第45回 通常総会を開催

5/17

5月17日(金)、京都東急ホテルにおいて、第45回通常総会が、会員100名余の出席を得て盛大に開催された。

定刻に開会、服部重彦会長が挨拶を行った後、議長に選任され、議事に入った。

当日の議案は次の通り。

第1号議案：第45期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）事業報告及び収支決算の承認の件

第2号議案：基本財産の取り崩しの件

第3号議案：第46期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）事業計画及び収支予算の報告の件

第4号議案：定款の一部改正の件

第5号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第6号議案：役員の選任の件

第1号議案については、黄瀬専務理事が事業報告全般及び収支決算について説明。続いて、総務委員会・戸成洋二委員長、企画委員会・広岡義雄委員長、技術・教育委員会・太田稔委員長、中堅企業委員会・竹ノ内壯太郎委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・長畑和典委員長、広報委員会・西山昌樹委員長より、各委員会の開催した事業について説明が行われた。続いて監事5名を代表して中野秀紀監事から会計監査の報告がなされ、全員異議なく原案通り満場一致で承認された。

第2号議案については、専務理事が基本財産の取り崩しについて説明し、全員異議なく原案通り承認した。

第3号議案については、専務理事が主要な事業計画及び収支予算についての説明を行い、全員異議なく原案通り満場一致で承認された。

第4号議案については、専務理事が定款の一部改正について説明し、全員異議なく原案通り承認した。

第5号議案については、専務理事が常勤の理事の年間報酬総額決定について説明し、全員異議なく原案通り承認した。



第6号議案については、その選任方法について諮ったところ議長一任ということで承認され、理事3名を役員候補者として提案、全員異議なく承認された。

総会終了後、役付理事選任理事会を開催し、副会長1名を選任した。

《新役員》（役職は、総会当時）

副会長 立石文雄（オムロン株）副会長）

理事 島田理史（株）菊水製作所 取締役）

吉田茂次（サンコール株）社長）

引き続き、関係各機関よりご出席いただいた多数のご来賓を交えて懇親会を開催。服部会長の挨拶で開会した後、来賓を代表して山田啓二京都府知事・門川大作京都市長より祝辞をいただいた。続いて来賓紹介、そして新入会員（日本たばこ産業(株)関西工場、社会保険労務士法人中嶋事務所）の紹介が行われ、賑やかな内に、中村久義京都銀行常務取締役の乾杯発声で開宴した。

その後、多くの来賓を囲みながら和やかに歓談し、天野副会長の閉会挨拶で盛況裡に懇親会を終えた。

平成25年度（第45期）事業計画大綱

基本理念：—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

★新規事業、または一部新規事業

(1) 会員相互の緊密な結びつきとモノづくりネットワークの拡大・充実をはかる

- ★1) 会員拡大の推進……………年間
- 2) 新春交歓会の開催……………定例
- 3) 京都工業クラブ、蔦の会、白鷺クラブの開催
……………各12回／年
- 4) 他府県産業界との交流……………1回／年
- 5) 委員会活動の活性化……………年間

(2) 「モノづくりのためのヒトづくり」の更なる強化をはかる

- 1) 京都高等技術・経営学院の内容の充実……………
研究科3コース／年
 - ア. 電子システム研究科
 - イ. メカトロニクス研究科
 - ウ. ウエルネス研究科
- 2) 生産管理・技術等研究会内容の充実強化……………年間
 - ア. 経営管理懇話会の開催
 - イ. 業務革新研究会の開催
 - ウ. 技術・情報管理研究会の開催
- 3) 技術開発支援強化……………随時
 - ア. テクノロジー&マネジメント研究会の
開催……………13回／年
 - イ. REACH対応特別研究会の開催…3回／年
- 4) セミナー・工場見学会の開催……………随時
 - ア. 生産革新工場見学会の開催……………5回／年
 - イ. 技能伝承セミナーの開催……………1回／年
- ★ウ. 開発設計ソリューション見学会の
開催……………6回／年
- ★エ. モノづくり革新道場の開催……………6回／年

(3) 新たな産学公連携の強化による新産業・新事業の創出をはかる

- 1) 京都産学公連携フォーラムの開催……………1回／年
- 2) 京都産学公連携機構との連携……………年間
- 3) 産学連携マッチング交流会の開催……………4回／年
- 4) (独)産業技術総合研究所との連携強化……………年間

(4) 経営国際化の推進による新産業・新事業の創出をはかる

- ★1) 「2013 トルコ産業視察団」の派遣……………1回／年
- 2) 東南アジア展開支援事業の開催……………5回／年
- ★3) 「東南アジア・ビジネスマッチング視察団」(仮称)の
派遣……………1回／年
- 4) 海外企業及び経済団体との交流……………随時

(5) 企業家精神の研究・追究により新産業・新事業の創出をはかる

- 1) 生産革新工場見学会の開催(再掲)……………5回／年
- 2) 2013中小企業見学会の開催……………6回／年
- 3) 中小企業技術幹部交流会の開催……………6回／年
- 4) 京都ハイブリッドテクノロジーネット事業の
実施……………6回／年
- ★5) ベンチャーマインドの研究……………6回／年

(6) 環境対策の向上を通じ地域・地球環境問題へ対応をはかる

- 1) 環境マネジメントシステム
(ISO14001及びKES)の推進……………年間
- 2) カーボンマネジメントの動向調査と研究……………年間
- 3) 地球温暖化問題に関するシンポジウムの開催
—京都経済4団体共同事業—……………1回／年
- 4) 京都環境管理研究会の開催……………7回／年
- 5) 労働安全衛生研究懇話会の開催……………7回／年
- 6) 関西環境管理者交流会……………1回／年

地域産業活性化事業への参画と協調をはかる

- (7) 1) 京都経済団体協議会との協調……………随時
- 2) 府内・外関係経済団体との協調……………随時
- 3) 国・京都府・京都市等関係行政機関との
情報交換と協調……………随時
- 4) 京都産業育成コンソーシアムへの参画……………随時
産学公連携、エネルギー戦略、「Kyoto Japan」ロゴによる海外販路開拓支援等
- ★5) 京都経済センター建設検討委員会への参画…随時
- ★6) 京都産業エコ・エネルギー推進機構との協調……………随時
- 7) 北部地域活性化及び舞鶴港活用の支援……………随時
- 8) 青少年と科学の会への支援及び
京のエジソンプログラムの推進……………随時

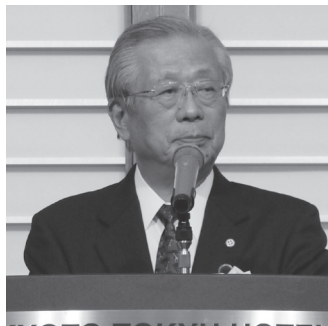
(8) 広報・会員サービス事業の推進をはかる

- 1) 会員企業優秀従業員の会長表彰……………1回／年
- 2) 京都工業会ニュースの発行……………5回／年
- 3) 景況等に関する調査・報告……………随時
- 4) 会員情報交換システムの拡充……………随時
- 5) 要望活動……………随時
- 6) 会員カタログコーナーの設置……………年間
- 7) 各種表彰推薦……………随時
- 8) 会員名簿・要覧の発行……………1回／年

(9) 京都工業会館の円滑な運営と有効活用をはかる……………年間

第45回通常総会

(敬称略)



挨拶 服部 重彦
京都工業会 会長



祝辞 山田 啓二
京都府知事



祝辞 門川 大作
京都市長



新入会員紹介



乾杯 中村 久義
京都銀行常務取締役



懇親交流会



閉会挨拶 天野 嘉一
京都工業会 副会長

服部会長 企業訪問

7/8

蔦の会、白鷺クラブ

4/4

服部会長が企業経営者と親しく意見交換を行うとともに、本会事業への一層の参画を呼びかけることを目的に、7月8日、2社を訪問した。

(株)クロスエフェクト (伏見区)



▲竹田正俊社長

医療機器をはじめとする企業や大学研究機関等からの分散発注による「光造形」の開発試作を行う。最近では医療現場で役立つ「心臓シミュレータ」等の臓器シミュレータの開発を行い、国内外から注目を集める。服部会長は臓器模型を手にして、「リアルな再現力と竹田社長の情熱に感銘した」と述べられた。

(株)最上インクス (右京区)



▲鈴木三朗会長

世界一の薄板金属加工メーカーをめざす同社・鈴木会長より一個の試作から量産試作加工までをどこよりも早く提供し、他社が着手しにくい試作品のビジネス展開に注力していること、「仕事を通じて人が人として成長する」とした基本理念にもとづいた経営について情熱的な説明を受け、同社を後にした。

平成25年度 定期総会を開催

4月4日夕、蔦の会・白鷺クラブの平成25年度定期総会に両会員30名が出席し、東山区の翠雲苑において開催された。

平成24年度の活動報告、平成25年度役員の選任、更には同年度の事業計画について討議を行い、全ての議案について承認された。

〈平成25年度役員〉

代表幹事：

代表幹事：



砂崎 達哉君
(砂崎製作所・社長)



坂 栄孝君
(坂製作所・社長)

＜新役員＞

幹 事：井尾 賢司君 (井尾製作所・社長)

〃 古澤志津夫君 (三幸総研・社長)

〃 丸山 栄三君 (丸山製作所・社長)

平成25年度 会員企業優秀従業員定例表彰

～ 58 氏 を 表 彰 ～

5月13日(月)午後、平成25年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、受賞者58氏(46社)を代表して、三宅 貢氏(島津システムソリューションズ(株))へ服部会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて同会長の式辞、来賓の京都府商工労働観光部理事兼雇用政策監 安楽岡 武氏、京都市産業観光局長 白須 正氏の祝辞の後、受賞者代表として山内 猛氏(尾池工業(株))が謝辞を述べた。そして最後に、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



〈受賞者名〉 (以下敬称略)

(株) イ シ ダ	長谷川正弘	シ ー シ ー エ ス (株)	小 西 淳	日 新 電 機 (株)	久保田定男
一 志 (株)	古 谷 政 夫	島津エンジニアリング(株)	川 端 正 昭	日 新 電 機 (株)	光 吉 昭 博
宇 治 電 器 工 業 (株)	十 倉 浩 之	島津システムソリューションズ(株)	三 宅 貢	日 東 精 工 (株)	東 山 昭 典
尾 池 工 業 (株)	山 内 猛	(株) 島 津 製 作 所	馬 場 晃	日 東 薬 品 工 業 (株)	中 野 照 義
大阪ガス(株)京滋エネルギー営業部	今 村 周 一	(株) 島 津 製 作 所	村 上 良 雄	福田金属箔粉工業(株)	田 中 雅 也
大阪ガス(株)京滋リビング営業部	広 野 晃	(株)島津ビジネスシステムズ	中 村 章 宏	福田金属箔粉工業(株)	永 淵 賢
(株) カ シ フ ジ	広 瀬 武	須 河 車 体 (株)	中 川 義 広	(株) 堀 場 製 作 所	中 村 泰 昭
(株) 菊 水 製 作 所	猪 飼 文 治	星 和 電 機 (株)	富 永 節 男	三菱自動車工業(株)パワートレイン製作所	清 水 肇
京 セ ラ (株)	今 川 涉	太 陽 機 械 工 業 (株)	寺 林 茂	三菱自動車工業(株)パワートレイン製作所	村 上 正 男
京 セ ラ (株)	吉 井 毅	太 陽 精 機 (株)	奥 田 洋 子	(株)宮木電機製作所	岩 城 勝 彦
京都機械工具(株)	後 野 正 美	太 陽 精 機 (株)	高 橋 喜 久	村 田 機 械 (株)	桑 原 哲 也
ク ロ イ 電 機 (株)	小 川 幸 信	(株) 大 日 本 科 研	花 井 隆	村 田 機 械 (株)	丹 誠
月 桂 冠 (株)	小 嶋 良 次	ト ク デ ン (株)	溝 口 晴 也	メ テ ッ ク 北 村 (株)	守 倉 由 二
(株) 工 進	堀 江 利 彦	T O W A (株)	伊 藤 篤	(株)ユーシン精機	佐 野 雅 宣
サ ン コ ー ル (株)	植 野 謙 一	T O W A (株)	村 田 正 紀	(株)ユーシン精機	山 田 信 宏
サ ン コ ー ル (株)	古 川 裕 之	(株) 藤 堂 製 作 所	本 領 信 一	開明伸銅(株)(京都伸銅会)	田 中 正 廣
(株) 佐 藤 製 作 所	竹 本 克 彦	(株) 富 永 製 作 所	藤 井 克 則	(株)タイョーアクリス(協京都府金属プレス工業会)	村 上 健 治
三 和 化 工 (株)	田 村 勝 行	ニチユ三菱フォークリフト(株)	堀 田 伸 治	株平安製作所(協京都府金属プレス工業会)	澤 田 茂
三 和 研 磨 工 業 (株)	森 田 匡 哉	(株) 日 進 製 作 所	中 西 正 樹		
(株) G S ユ ア サ	飯 田 克 典	(株) 日 進 製 作 所	平 林 秀 昭		

役員企業への景気動向調査

本年度下半期は業績改善を予想

景気回復の鍵は、設備投資、個人消費、公共投資の増加

本会では、昨年末に発足した安倍政権の経済政策「アベノミクス」に伴う円高修正や株価高を起点にようやく自律的回復に向かいつつあるとされる今日、わが国経済のマクロ的状況と景気の見通しについて、役員企業（70社）トップの現状認識と課題、更には展望を聞き、今後本会の事業活動に反映させるべく、このほど調査を行いました。

回答の要旨と調査結果、更には若干のコメントをとりまとめ、以下に報告します。

調査期間：平成25年6月1日～30日

「成長戦略」発表前調査

調査対象：本会役員企業（理事及び監事企業70社）

回答総数 46社（回答率66%）

京都モノづくり企業の現状

安倍政権となって半年、アベノミクスとして矢継ぎ早に政策が打ち出され、経済界には久方振りに明るい空気が出始め、景況感は一転し、この間の経済運営の方向性は評価するというのが大方の回答となった。

1. 日本経済全体の景気の現状

緩やかに回復 65%

横這い 28%

緩やかに後退 7%

勢いよく回復 4%

2. 円安、株高の企業への効果

～54%が役立っている。37%が変わらない

業績回復に少しは役立っている 43%

あまり変わらない 37%

業績回復に大きく役立っている 11%

業績悪化につながった 9%

3. 2013年日本の景気見通し

緩やかに改善 87%

横這い 13%

4. 円安、株高の何に期待するか

～41%が設備投資、24%が個人消費、
22%が公共投資

5. 景気の先行き懸念材料（上位4位まで）

原油、原材料費の上昇 57%

中国等新興国経済の失速 46%

欧州経済危機の影響 43%

為替の動向 41%

6. 2013年9月末の円対ドルレート予測

95円以上100円未満 46%

100円以上105円未満 39%

105円以上110円未満 6.5%

7. 2012年9月～2013年3月の業績

～減収の方が上回り、増減益拮抗

売上高 減少 41%

増加 33%

横這い 26%

純利益 増加 37%

（税引後） 減少 35%

横這い 26%

8. 2013年4月～9月の業績予測

～約5割が増収増益の予測

売上高 増加 52%

横這い 24%

減少 22%

純利益 増加 46%

（税引後） 減少 26%

横這い 24%

9. 2013年10月～2014年3月の業績予測

～6割以上が増収増益の予測

売上高 増加 67%

横這い 22%

減少 9%

純利益 増加 61%

（税引後） 横這い 24%

減少 11%

10. 2013年度内に従業員（非正規含む）の賃金増加予定

する 52%

未定 30%

しない 15%

11. 成長戦略への期待

法人税率の引き下げ、規制緩和、雇用対策、中小企業への目配り、我が国の強みを生かすこと等への期待が寄せられている。

12. 安倍政権の規制緩和への期待

とりわけ規制緩和については、電力・エネルギーの自由化、雇用の流動化、先端医療分野での手続きの簡素化等、企業が日頃感じ、企業経営に直結する切実な欲求が出されている。

13. TPP

TPPについては、9割以上の企業が賛成しており、輸出増への期待、国際競争力の向上、関税の撤廃等とともにビジネスチャンスが広がるとの声もある。

また工業材料の殆どを海外からの輸入に頼っている我が国が環太平洋地域諸国との経済連携を図り相互繁栄を図ることは必要であるとの意見もあった。

～多数の参加企業を得て、総勢225名で活動をスタート～

総合オリエンテーション

当日は、先ず12時から「技術・教育委員会と各研究会の正副主査との懇談会」を開催、研究会の運営方法や正副主査の役割などについて、意見を交換した。

その後、13時30分より京都工業会館に総勢225名が一堂に会し、総合オリエンテーションを開催した。

冒頭、技術・教育委員会 委員長 太田 稔氏（日新電機(株)人材開発部主幹）が、「激動の今こそ、他社事例やアドバイザーの講義、演習などから各自の業務革新能力を磨いて、新たな社内B M（ベンチマーク）化へのヒントやノウハウを持ち帰って欲しい」と挨拶。

続いて研究会活動を行う上での基本事項を確認後、当研究会のO Bでもある日新電機(株)事業部長 野口昭夫氏が「これからのモノづくりに求められること」と題して講演、その後、8研究会は、それぞれに分かれ、年度方針の検討を行った。

5月から本格的な活動がスタートする。



においては、両グループが合流して共通課題を研究する仕組みで1年間の活動を運営する。

平成25年度は、実践演習を増加させると共に、この8研究会を基盤に幅広く内外の業務革新情報の収集、各種大会、特別講演会等の開催、マンスリーレポートの発刊など、外部に向かってもタイムリーな情報を発信していく。

各研究会の正副主査名 (敬称略)

研究会名	正副主査名・社名
品質革新 (31名)	湯浅泰伸 (京都電子工業(株)) 祖父江 亮太 (オムロンソーシアルソリューションズ(株)) 小田敦史 (星和電機(株))
生産管理 (26名)	木下邦和 (株)堀場製作所 小川陽逸 (株)イシダ 徳田拓也 (ムラテック情報システム(株))
購買調達革新 (15名)	川上 直 (星和電機(株)) 井口 剛 (株)イシダ 北村匡隆 (トタニ技研工業(株))
生産革新：基礎IE部会 (45名)	奈良智光 (株)島津製作所 辻 武彦 (ムラテックメカトロニクス(株)) 藤沢真好 (株)山岡製作所
生産革新：JIT改善部会 (28名)	丸山朝秀 (三菱自動車工業(株)) 田井中 昭 (ニチコン草津(株)) 岡本憲洋 (株)村田製作所
V E (26名)	早川尚樹 (ニチュ三菱フォークリフト(株)) 中澤 修 (朝日レントゲン工業(株)) 波多野 嘉和 (日東精工(株))
生産現場リーダー力強化 (42名)	金田晋一 (日新受配電システム(株)) 小野嘉之 (田中精工(株)) 辻本禎行 (関西尾池工業(株))
T P M (12名)	相良尚平 (株)旭プレシジョン 赤松洋介 (京都機械工具(株)) 小塩昭彦 (島津プレシジョンテクノロジー(株))

研究会誕生の背景

研究会事業の発端は、1959年に開催された「I E研究会」という講習会にある。

これを機に講習会では解決しない管理技術面での課題を解消するための場を設置しようとの機運が強まり、島津製作所、オムロン、三菱重工業などの大手会員企業が牽引役となって、先ず、1963年に品質管理、生産管理、外注管理、作業、工作の5研究会の設置をみた。その特徴は、

①各社の第一線の管理技術者がギブ&テイクをとおして、実務上の問題解決を目指すこと

②大手企業が中小企業の管理技術者の養成に貢献することにあった。以後、50年余の歴史と伝統を刻みながら、平成22年度から事業名を「業務革新研究会」に一新し、より激動の時代に対応できる内容作りを目指している。

平成25年度の方向性

「グローバル競争に勝ち残るものづくり革新力の強化」をテーマに、研究会メンバー一人一人がその業務経験と能力に応じ、1年間の到達目標を設定し、より実践的な演習等を増強していく。当面、前期・基本編（5～9月）においては、アドバイザーの指導を受けながら、

①実務の基本を再確認するグループ

②経験交流による実践研究を行うグループ

の2グループに分かれ、また、後期・実務編（10～2月）

第553回京都工業クラブ

4/19

事業化の視点から見た iPS テクノロジー

iPSアカデミアジャパン(株) 社長 村山 昇作氏

昨年ノーベル賞を受賞された山中京大教授が開発されたiPS細胞は、再生医療・創薬等の分野で応用が期待され、中小企業含め様々な企業に参入チャンスがあると言われていることから、iPS細胞技術関連特許のライセンス事業等を手がけるiPSアカデミアジャパン・村山社長をお迎えし、お話を伺った。iPS細胞の説明から、再生医療の現状や今後の見通し、創薬ツールとしての応用や周辺ビジネスの解説、そして同社の事業紹介等がなされ、最先端の動向を伺うことができた。



第554回京都工業クラブ

5/24

日本を取り巻く東アジア情勢のゆくえ ～中国・韓国・北朝鮮を中心に～

京都大学大学院法学研究科 教授 中西 寛氏

尖閣諸島及び竹島を巡り厳しきの増す日中・日韓関係、更には北朝鮮のミサイル発射問題等、我が国を取り巻く東アジア情勢が一段と緊迫化していることから、国際政治学の権威である京都大学・中西先生をお迎えし、お話を伺った。中国新体制の動向（習近平体制、対外政策、中国の現状と今後等）、朝鮮半島情勢（北朝鮮と韓国）について解説された後、日本の対応として、①中国の抑制と誘導 ②対朝鮮半島戦略 ③歴史問題の争点化の回避等を挙げられた。



第555回京都工業クラブ

6/28

ミャンマー経済の現状と今後の展望

京都大学東南アジア研究所 准教授 三重野 文晴氏

政治・経済改革が急速に進むミャンマーが世界の注目を集め、わが国経済界でも次代の生産拠点として関心が高まっていることから、気鋭の京都大学・三重野先生をお迎えし、お話を伺った。ミャンマー経済と経済改革の方向性等について詳細な資料をもとに解説され、今後の発展の可能性についても述べられたが、ミャンマー経済の実態については軍事政権下の20年間の眠りの中でまだわかっていないことも多く、その調査と今後の見極めが必要であろう、と述べられた。



〈予告ご案内〉

～欧州とアジアをつなぐ～ 2013 トルコ産業視察団

年率8%を超えるというイスラム圏内屈指の高い経済成長を遂げると共に欧州・中央アジア・北アフリカ市場への拠点として魅力をもつトルコ共和国に産業視察団を派遣することにしました。また、この機会に「悠久の歴史と哲学」そして神話の国・ギリシャを訪問します。奮ってご参加下さいませようご案内します。

【視察国】トルコ、ギリシャ

【日 程】11月10日(日)～18日(月) 〈9日間〉

【団 長】京都工業会 副会長 天野嘉一

(日新電機(株) 会長)

【内 容】・日系進出企業見学

・経済関係機関訪問

・行政機関等関係者と懇談

・産学連携機関訪問

【参加者】約30名

月日 (曜)	地 名	スケジュール (予定含む)
11/10 (日)	関西空港発 23:20	空路、イスタンブールへ
11/11 (月)	イスタンブール着	着後、イスタンブール市内産業視察
11/12 (火)	イスタンブール	・ホンダ、トルコ社訪問 ・ダイキン、トルコ社訪問 ・在イスタンブール日本企業関係者と夕食懇談会
11/13 (水)	イスタンブール発 カイセリ着 カッパドキア	・イスタンブール市役所表敬訪問 空路、カイセリへ 着後、“アナトリアの虎”の企業視察
11/14 (木)	カッパドキア ア ン カ ラ	世界遺産カッパドキア視察 陸路、首都アンカラへ ・在トルコ日本大使表敬訪問
11/15 (金)	アンカラ 発 ア テ ネ 着	・トルコ政府投資庁訪問 首都アンカラ市内視察 空路、アテネへ (イスタンブール経由)
11/16 (土)	ア テ ネ	アテネ市内及びエーゲ海終日視察
11/17 (日)	ア テ ネ 発 イスタンブール着	アテネ市内の産業施設視察 空路、帰国の途へ
11/18 (月)	イスタンブール発 関西空港着 18:45	空路、関西空港へ 着後、解散

“モノづくりの息づかいに触れる”
“職人の技と心に出会う”

「燕 三条」工場見学会 ご案内

今回、匠の高度な技術を連綿と伝承し、一方で現代にマッチした製品を創出することで多様な加工技術の高度化を図り、世界有数の技術集積地として「モノづくり」の伝統が更なる進化を遂げている新潟県の「燕 三条」を訪ね、“モノづくりの原点とスピリット”を学ぶことにしました。多数のご参加をお願いします。

日 程 9月12日(木)、13日(金)

内 容

1日目 (株)タダフサ(包丁工房タダフサ) 訪問

家庭用・業務用包丁製造

(株)兼古製作所 訪問

作業工具・ドライバー製造

(協)三条工業会役員と懇談

設立：昭和39年 組合員：520社

2日目 (株)玉川堂 訪問

「鋳起銅器」など最高品質の銅器製造

小林工業(株) 訪問

「洋食器の燕」の草分け的企業

石本酒造(株) 訪問

越後の名酒「越の寒梅」醸造元



ゴルフ同好会 (KIG)だより

▶平成25年度第1回例会(第201回例会) 結果

と き：平成25年4月12日(金)

ところ：城陽カントリー倶楽部

参加者：8名(内、シニア2名)

優 勝 坂 栄孝氏(株)坂製作所
B G賞

準優勝 神野 勝氏(エーシック(株))

3 位 富田泰溥氏(星和電機(株))

▶平成25年度第2回例会(第202回例会) 結果

と き：平成25年6月12日(水)

ところ：田辺カントリー倶楽部

参加者：12名(内、シニア4名)

優 勝 神野 勝氏(エーシック(株))

準優勝 中嶋忠男氏(社会保険労務士法人中嶋事務所)

3 位 富田泰溥氏(星和電機(株))

B G賞 武村辰憲氏(双和電機(株))

☆K I G入会のご案内☆

京都工業会では、心身のリフレッシュと会員間の親睦をはかるため、ゴルフ愛好者が集い、楽しく・仲良く『ゴルフ同好会(K.I.G.)』を運営しております。

共にゴルフを楽しむ中から、交流の輪を広げていただきたく、会員を募集しております。腕前・年齢は一切問いませんので、お気軽にご入会下さい。

《運営要綱》

例会：原則 年4回 (4月、6月、9月、12月)

会費：(年会費)15,000円(例会費)5,000円/1回

お問い合わせ：

(公社)京都工業会・ゴルフ同好会(担当：野上)

(TEL) 075-313-0751

会員拡大にご支援願います。

本会は法人化50年、公益社団法人への改組1年を迎えた本年、この機に21世紀を担うモノづくり集団としての組織基盤を強化し、京都からモノづくりイノベーションを実現するため、このほど「会員拡大特別推進本部」(本部長：服部重彦本会会長)を設置し、推進期間を設けて会員拡大に取り組んでいます。

この取り組みにご理解とご支援をお寄せ下さいますようお願いいたします。

〈推進期間〉 平成25年6月～平成26年3月

※本件についてのご連絡先

公益社団法人 京都工業会(総務課)

(TEL) 075-313-0751

〈お知らせ〉

事務局・京都工業会館 夏季休暇

8月15日(木)、16日(金)

京都工業会ニュース No.375

■2013年7月31日発行

■発行——公益社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755
U R L : <http://www.kyokogyo.or.jp>
E-mail : info@kyokogyo.or.jp